



一見すると、総合計画やSDGsと料理教室に「何の関係があるの？」と思ってしまうですが、この料理教室は、市民の皆さんに身近で分かりやすく伝えることを目的に、食育を通してみんなで地域の緩やかな循環を考えようと企画されたものです。

当日は、レシピは用意せず、環境と食の関係についての講話の後、用意された食材をもとにグループごとに話し合いながら1つの料理を完成させるというコンセプトで進められました。



色とりどりに並べられた料理を試食しながら、参加者は「地域の食材を使うことが食の地域循環につながる」と、「食品ロス問題」などを学びました。

そして、それは結局、遠く見えていたSDGsにつながるものでした。



パートナーシップとは、お互いに協力し合うということ。

例えば市民の皆さんと市（行政）や地域の皆さんお互いが自分の立場を越えて協力し合うことなどで、たとえ小さなことでも自分で行うことを考え、無理のない範囲で地道に続けていくことが、みんなが幸せで魅力あるまちづくりをしていくということにつながります。



パートナーシップで目標を達成しよう

SDGsの目標は17項目もあり、さらにこのゴールはバラバラに目指すものではなく、密接に関連しています。

そのため、これを全部理解して、取り組んでいくことはとても難しいことです。

それでも、今回の料理教室のように、何か目的を持って行動を起こしたとき、それは必ずSDGsにつながっているはず。

それでもSDGsは難しい

SDGs (持続可能な開発目標)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (エスディージーズ。サステイナブル・デベロップメント・ゴールズ Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットにおいて、全会一致で採択された2030年までの「持続可能な開発目標」のことで、全部で17の目標が設定されています。

キジカケル!



広報薩摩川内7月10日号には、令和元年度に完成した薩摩川内市のこれからのまちづくりの指針となる第2次薩摩川内市総合計画（後期基本計画）が紹介されていました。

さらに総合計画は、国連が定めた目標SDGsにも関連付けがされているそう。

そこで、今回は、総合計画とSDGsについて、勉強してみたいと思います。

## 第2次薩摩川内市総合計画（後期基本計画）とSDGs

そもそもSDGsってなに？

地球は今、地球温暖化や熱帯雨林の減少、砂漠化、酸性雨、水や大気の汚染など、多くの環境問題を抱えています。

豊かな生活と環境とのバランスを考えながら、「人間がずっと地球に住み続けられるように開発・発展するにはどうしたら良いだろう？」と、世界のみんなで考えた目標がSDGsなんだそうです。



総合計画とSDGs

世界と薩摩川内市では、スケールの大きさに違いはありますが、SDGsも総合計画も、これからの時代を生きるみんなのことを考え、今できることから取り組んでいくことです。

そのため、総合計画に取り組んでいくことは、SDGsの達成に取り組むことにつながると考えられます。

SDGsと料理教室!?

市では、SDGsに関する市民の勉強会を料理教室の開催という手法で実施しました。

テーマは、「地域のゆるやかな循環を考える料理教室」。

講師には、東京を拠点に循環型社会を取り入れた豊かな暮らしを提案する株式会社fog代表の大山貴子さんを迎えました。



今回、ご紹介した「SDGsと料理教室」に参加することもその一つです。

みんなで作った計画だから  
みんなで考えてみんなで  
まちを作るんです。

市内の全世帯に配布された、第2次薩摩川内市総合計画（後期基本計画）の概要版には、施策ごとにSDGsの目標を関連付けて整理されています。

総合計画もSDGsも、一人一人では、進めることはできません。まずは、SDGsの掲げる目標に少しでも興味を持つことが私たちができる第一歩。

お互いに行えることを発揮して、みんなで手を取り合いながら、これから魅力あるまちづくりを進めていくことが大事なんだと僕は思います。



皆さんが知りたいことや紹介したいことなどがありましたら、情報をお寄せください。

問合先／本庁広報室広聴広報G（内線632）